


緒方旗染工芸			
業種	製造業	事業所所在地	福岡県大野城市
		資本金	
		従業員数	2名

 	被承継者 (左)		
	緒方 洋正	70歳	※承継時
	承継者 (右)		
	緒方 大樹	40歳	※承継時
事業承継を行った時期	被承継者と承継者の関係		
2018年1月	子ども		
承継前の主たる事業の内容	承継前の主たる事業の課題		
染色工芸 のぼり旗、法被、暖簾、ユニフォームへの染物、刺繍	・新販路の開拓（新たな流通ルートや直販の確立等）	BtoBの取引が多く企業や団体の染物、刺繍をメインにやっていたが、市場のニーズは染物、刺繍ではなく貼り付けのプリントが多くなり、単価の安い大手へ流れていって、取引量が減ってきていた。新販路開拓も進んでおらず、BtoCへの販路を開拓することが課題であった。	

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 17年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
先代が56歳の時に10年後に店を閉めると言われたときには、大阪の異業種で働いていたが、伝統工芸を何とか残せないか考えていたところ、小さいころから知っている先代の取引先の方から地域から染物店がなくなるより引き継いだ方が良いよとの勧めもあって、引き継ごうと決意した。	承継者が異業種で働いており、染物の技術がなく、まず修業に出て染物の技術を習得すること。	承継者が営業しかしたことがなく、染物技術を習得できるのか、今までの取引先に信頼を得ることが出来るのか不安であった。
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	被承継者と承継者で既存の取引先に交代の挨拶を行った。承継者の技術力を見てもうなど信頼を得るように努力した。	染物だけで成り立つかに不安があり、染物以外にもプリントなどを取り入れていくことをやっていたくないと思っていた。
これに一番苦労した！		
被承継者は染物に特化しており、承継者が思っていたプリントなどはやっておらず、既存取引先や新規取引先への説明や取引開始をするまでの地道な営業に苦労した。		

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
商工会・商工会議所	承継にあたり、事業計画策定や資金繰りの相談に乗ってもらい、資金繰りの計算表や事業計画を専門家と一緒に立てることができた。また、この事業承継補助金の情報をもらったり申請から報告までのサポートをしてもらった。
いつから相談？	
承継実行の 3 年前	
相談のきっかけ	
取引先からの紹介	

経営革新等に係る取組の標題

今後取り組むB to Cに対応できる商談スペースと作業場の全面改装

経営革新等に係る取組の内容	その他の新たな事業活動
---------------	-------------

●企業や団体ののぼり旗、校章や暖簾など一枚ものを中心に染色や刺繍を行ってきたが、近年は企業や団体からユニフォームへのプリントの需要が多くなり、単価の安い大手へ依頼される取引先も増えてきた。そんな中、個人の方からTシャツへのプリントや刺繍をして欲しいと依頼があり、地元地域でも個人客が掘り起こせることに気付いた。

●しかし、当社は工場スペースしかなく、個人客が来られても、商品を見る場所や相談する場所がなく、取引の機会を失っていた。

●そこで、古く、狭く、拡張することが出来なかった工場を建て替えて、個人客との取引の機会を得るための商談スペースを設置した。

●実際に工場を解体して新しい工場と商談スペースの工事を行ったことで、既存取引のあった企業や団体の方にも商談や新たな提案を行うことができた。加えて、古い工場の動線問題等も解消することができ、生産性向上も期待できる。さらに、窓の大きい造りにしたことから、工場と言うよりもショールームのような雰囲気になったことで、個人客の来店と取引増加が期待できる。



地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
<p>新工場を建築することで、製造ラインを再構築し、納期の短縮ができるようになり、既存の顧客からの急ぎの納品を行えるようになった。また、それに伴い、受注も増え、パートを増員することになった。</p>	<p>経費の主な使い道</p> <ul style="list-style-type: none"> 設備費 廃業費 <p>設備費（新工場建設工事費） 廃業費（旧工場解体工事費・処分費）</p>

認定経営革新等支援機関の名称：大野城市商工会

認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容

<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input type="checkbox"/> 補助事業の実施
---	---	---	----------------------------------

事業承継補助金を教えてもらい、新工場建設をしようと決意した。また、事業計画の立案から、各種提出書類のサポートをしてもらった。

今後に向けて～次の目標

2019年から2022年に向けて	染物や刺繍、オーダープリントなど小ロットの注文を受け、広い範囲の個人顧客を増加させながら、喜んでもらい、そこから、いままです取引のない、地域の団体等を紹介して頂き、団体の取引先を増加させることが目標。
営業利益	20 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ

被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
染色など日本古来の伝統工芸は、承継者が少なくなり、無くなりつつある中、私は息子に引き継いでもらって、このような伝統工芸を残すことは非常に大事なことだと思いました。日本の技術力は世界にも通用するものばかりですので、後継者をしっかりつくり引き継いでいっていただきたい。これから事業承継をされる方は、承継される方としっかり話し合いを行い、商工会などの機関へ相談することで安心して引き継ぐことができます。	承継するにあたり、事業計画や展望は考えていましたが、書面にはしておらず、商工会へ相談し事業計画を策定してもらうことで、形にすることができました。その計画をもとに先代や従業員、取引先へ話すことで承継後に自分のすることを理解してもらい協力を得ることができました。また、この事業承継補助金を活用することで資金面も乗り越えることができました。